ポラリス

札幌社会保険総合病院　院外広報誌

創刊号
2006年６月

創刊にあたって　秦院長

電子カルテ導入
RIS. PACKSニュース
医療の現場から
糖尿病教室へようこそ
世界禁煙週間
看護の日　イベント
マンモグラフィ検診施設認定!!

ポラリスの由来

ポラリスは北極星を意味します。当院の前身である北辰病院の北辰もまた、ポラリスと同じ北極星を意味する言葉なのです。北極星のように、北国の中心で悠久に燦然と輝き続けたいという願いが込められているのです。
題字は秦院長の直筆です。

URL　http://www. zensharen. or. jp/sapb

院外広報誌「ポラリス」創刊にあたって

「やわらかい脳とかたい脳」

院長　秦　　温信

長年の懸案であった院外誌が発刊される運びとなったことは大変喜ばしいことです。当院には院内誌として「北辰だより」があり、これは昭和60年（1985年）４月に第１号が発刊され、それから毎月休みなく本年６月で280号を数えるに至っております。その編集に当たってきたメンバーが中心となってこの編集作業を行っています。

以前にも書いたことがあります（秦　温信著：北国から、さわやかな風を－医療・保健・福祉の原点を求めて－、悠飛社、2005年）が、千葉康則氏の提唱している「やわらかい脳とかたい脳」について触れたいと思います。人間の大脳の左半球は、言語的・理知的で「かたい脳」であるのに対し、右半球は、非言語的・直感的な「やわらかい脳」であるとされています。左半球では、「良いか悪いか」「プラスかマイナスか」「イエスかノーか」といったように文節的に結論を出して行くのに対し、右半球では、動物的あるいは無意識的に全体像を捉えて行こうとします。したがって、人間にとって最も重要な「豊かな感性あるいは創造性」はこの右半球の発達の程度によるわけです。自分も含めてこの右半球的な「やわらかい脳」としての発想や思考が希薄になってきているのでは、と感ずることがしばしばです。時流に遅れないように洪水のような情報の中に身を投じていなければならず、その情報の取捨選択に莫大な労力を費やさざるをえず、「やわらかい脳」どころではなくなってしまっているかもしれません。

当院は創立以来、人権を尊重し、人間愛を基本に患者中心の全人的医療を進めることを理念に掲げておりますが、真に病む人の視線で医療を追求してゆくためには、この「やわらかい脳」による発想がますます必要になってくると思っております。あまりに激しい医療制度改革の変化の中ではありますが、この院外誌を通じて当院職員と当院を利用される方々との「やわらかい脳」が触れ合うことによって理解がより深まり、双方の「絆」がより一層強いものになるよう願っております。

電子カルテ導入について

副院長　佐　藤　裕　二

当院では、かねてよりご案内のように５月１日より電子カルテの導入を施行致しました。前に述べましたように、そのメリットをあげますと、診療現場における情報の共有（例：医師と看護師つまり診療部門と看護部門）、記録の管理（いつ、誰が、誰にオーダーしたか、あるいは修正・削除したか）、転記作業の軽減、複数で確認、情報のエラー、ワーニングなどのチェック機能などがあげられます。このようなメリットを目指して導入したのですが、いざ導入してみると予想どおり多数の問題点がおきております。具体的には、代行入力のあとの医師の承認・医師の権限委譲の範囲・学会などで画像を取り出し保管する場所・予約採血などのラベル発行がされない、など医師の負担が比較的多くなっていることがあげられます。医師の負担増にともない当然看護師、会計事務も負担増になります。その他、食事オーダー・画像を誰かが使用していると他では見られない・コンピューターを１日１回リセットする必要性・各種書類の保管など、導入前は普通に処理していたことが一つづつコンピューターと向かい合うことが必要となりました。そのために、各部署での作業の遅れが起こっております。遅れの原因には電子カルテに向けての病院の準備不足・今システムに対する不慣れも加わっています。しかし、導入してまだ１ヶ月です。私が以前勤務していた北大病院でも、オーダーリングシステム導入で大混乱が起こり、各部署で大変であったことを思い出します。先に導入した病院では、外来診療ではカルテ診療よりはるかに便利でよいなど、という意見もあります。早く慣れ、このシステムのメリットを最大限引き出せるようにしたいと考えております。

RIS. PACS導入によるフィルムレスが実現

放射線部技師長　薮　野　　孝

●電子カルテとRIS. PACSの構成

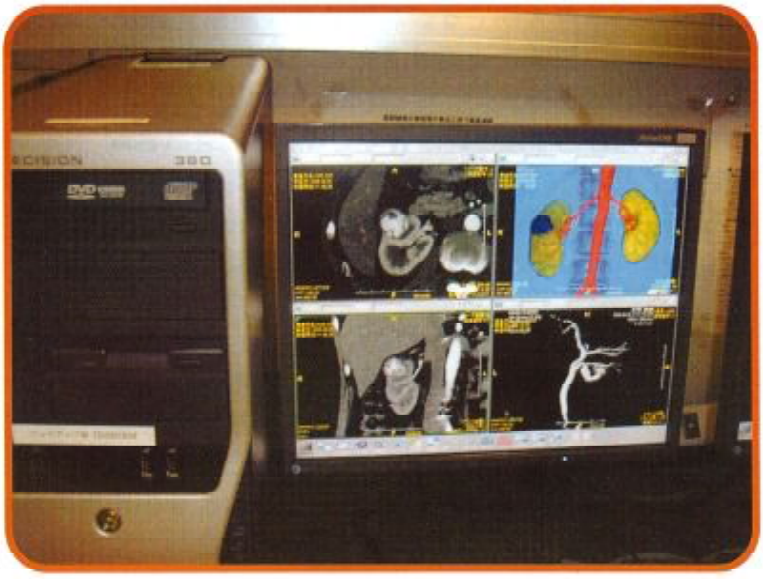
当院では5月1日に新たな病院基幹システムとして電子カルテが導入されました。それにともない放射線部ではRIS. PACSを導入しフイルムレス環境を実現しました。
根幹となる電子カルテは富士通社HOPU/EGMAIN/FXが導入されました。放射線部の概要は、RIS（放射線情報システム）およびレポートシステムはコニカミノルタ社製、PACSおよびWEB画像配信システムもコニカミノルタ社製のNEOVIST A I -PACSで構築しました。2M高精彩モニター2面が主力で、カラーモニターが組み合わされています。

●PACSとは……？

当放射線部には健診センターを含めCT２台、MRI１台、DR装置１台、CR装置（REGIUS４台)、乳房撮影装置（CR2台）骨密度測定装置1台、消化管撮影装置（DR3台)、血管撮影装置１台、核医学部門にSPECT1台があり、年間70,000件あまりの撮影を行っています。撮影された画像をデジタル化して大容量のハードディスクに保管し、オンラインで画像をモニター上に呼び出し、読影するシステムがPACSで、フィルムが必要でなくなります。放射線部ではPACS導入によるフイルムレス化に向けて、以前より全ての画像をデジタル化し，デジタル保管してPACS導入時の過去画像を表示する準備を行ってきました。導入された今、過去画像も含め、全ての画像がモニターで表示されます。画像は２分の１可逆圧縮で保存していますので撮影時から劣化のない画像を見ることができます。また、即時に画像表示が可能な大容量サーバーを保有し、バックアップにも万全を期しています。

●フィルムレスにより大きく変化する放射線業務

フィルムレス運用により、放射線業務は大きく変りました。撮影後にRIS端末で撮影画像を確認後、検証を行う検像業務を行い検像済みとなると、病院内の診療端末のビューワーからどこからでも画像が閲覧可能になります。また、それに付随してフィルムの袋や、保管場所のスペースが必要なくなり、フィルム現像用のドライレーザープリンタの維持管理費用についても削減が見込まれます。フィルムの搬送に伴う人件費も削減でき、放射線業務の効率化が実現しました。一方、新たなサービスが開始されました。他医院からの紹介患者持参のフィルムはスキャンすることでデジタル化しPACS管理としました。また他医院への逆紹介時には必要に応じてフイルム出力を行っています。



このように診療報酬総額抑制の流れの中で、フィルムレス・PACS化は大きな経済効果が期待できます。一方で経済性、効率化のみに傾注するのではなく、検査の質の向上、医療安全の確保といった医療の質の観点は、常に最優先に取り組むべきであると思われます。

医療の現場から

腰や背中の痛みと姿勢について体操のおすすめ

整形外科主任部長　竹　林　武　宏

腰や背中の痛みと姿勢とは密接な関係にあることはすでに皆さんご存知のことと思います。ここでは年代別に腰背部痛に対する姿勢の重要性について述べさせていただきます。

まず、青壮年の方々にとって腰痛は最も多くの人達が悩んでいる病気の一つであります。腰痛症の原因には、腰椎椎間板ヘルニアをはじめとして様々なものがあげられますが、その中で日常診療上しばしば遭遇するのが姿勢性腰痛症です。これは一言でいうと、腰の前ぞり（腰椎の前弯といいます）が増加することに起因した腰痛です。腰の前ぞりが増加する原因には肥満やハイヒール、腹筋筋力の低下などがあります。この姿勢性腰痛症に対する対策は腹筋の強化と背筋のストレッチであります。腰痛症に対して体操がはたして治療効果があるか否かを調べるため大規模な調査が行われ、その結果が最近報告されました。それによると、腰痛症に対して体操は有意に治療効果のあることが判明されました。

次に、高齢の女性の方々を悩ませている骨粗鬆症による腰背部痛について述べます。本症の特徴の一つは背中がまるくなりネコ背になることです。その結果腰や背中に鈍痛があり、時には下の肋骨までもが痛くなることがあります。このような腰背部痛に対しては腹筋を鍛えるよりはむしろ背筋訓練が重要となります。ご高齢の方にとって最初からマットの上で背筋訓練をするのは難しい場合がありますので、まずは日常生活でいつも胸をはり、背すじをきちんと伸ばしていることを心がけることから始めてみてはいかがでしょうか。

このように、日頃から良い姿勢を保つことにより腰や背中の痛みを遠ざけることができます。是非皆さんも試してみてください。

糖尿病教室へようこそ

糖尿病内科部長　和　田　典　男

現在日本には糖尿病の患者が740万人、糖尿病が否定できない人が1620万人いると考えられています。糖尿病やそこから引き起こされる合併症や動脈硬化性疾患の増加が日本人の健康上大きな問題となっております。糖尿病の治療には、食事、運動といった日常生活を患者さん自身が自己管理することが大切です。札幌社会保険総合病院では、糖尿病患者さんの生活習慣の改善を支援するために糖尿病教室を開催しています。場所は当院２階の講義室で、１回目は木曜日、２回目は翌週の火曜日、時間は午前11時から午後１時半までです。これを３週間ごとに行っています。糖尿病で入院されている患者さんと通院の患者さんが一緒に参加します。内容は、１回目が内科医師の糖尿病の概要についての講義と眼科医師の網膜症についての講義、２回目は内科医師の糖尿病の治療についての講義と理学療法士の運動療法についての講義であり、２回とも昼食時には自分に合ったカロリーの糖尿病食を試食し、食事療法についての栄養士からの指導があります。糖尿病教室にご参加いただきますと、糖尿病治療の目的と方法が理解でき、病院で行う検査の意味が良くわかるようになるようで、血糖コントロールがよくなる患者さんもいらっしゃるようです。糖尿病として通院している患者さんとその家族の方の場合は、詳しい内容は内科受診時に内科外来でお問い合わせください。また近隣の診療所から当院の医療連携室を通じて申し込むことができますのでかかりつけの医師にご相談ください。

世界禁煙週間

禁煙委員となって

薬剤部　志　賀　隆　博

今年の４月より、『ニコチン依存症は病気であると位置づけ』され管理料が新設されました。当院は、いち早く禁煙外来の実施、診断設備、病院敷地全面禁煙の要件が揃った保険適用の医療機関として認められています。

当院では、ニコチンパッチを貼付し、８週間を基本に体内へのニコチン用量（52.5mg→35mg→17.5mgニコチン含有量のパッチ）を順次減らすことにより、ニコチン依存から禁煙した時に出る離脱症状を軽減し無理なく禁煙を導くニコチン置換療法を行っています。

ためして合点では、吸いたくなったら、氷をかじるのも禁煙を導く効果があるそうです。

病棟での服薬指導で、喫煙による有害性（喫煙によって生み出される一酸化炭素は、ヘモグロビンとの結びつきが酸素に比べ200倍強あり、酸素欠乏症となって血管を傷つけてしまうとかインスリンの効き目が悪くなる等）を話す機会があるからでしょうか？今年から、禁煙委員となりました。

委員の役割は禁煙の啓蒙と思いますが、５月31日から始まった禁煙週間に掲示していた世界の禁煙ポスターをじっくり見ました。美しい女性が、長年の喫煙のニコチンにより血行を悪くし、皮膚の温度の低下や新陳代謝の悪さが招く『スモーカーズフェイス』（唇の輝きは失われ、しみ、しわが年齢のわりに多い顔）となってしまったポスターやシンガポールでは、ゴミやタバコのポイ捨て、禁煙区域での喫煙により罰金や強制労働を課せられることもあるそうですが、タバコのポイ捨てによりお縄となっているポスター等々、禁煙や喫煙マナーが簡潔に表現されていることが印象に残りました。

現在、世界の死亡原因の第４位となっている「たばこ病」COPD（慢性閉塞性肺疾患－肺胞の破壊と気管支の炎症により充分に呼吸が出来なくなる病気）は、タバコの消費量が増えるにつれCOPDの死亡率が増えました。『禁煙に手遅れ』なしだそうです。COPDと診断されたらまず禁煙してみましょう。

最近、タバコの先から立ち上る煙－副流煙による受動喫煙が問題となっています。旦那さんが家で10本吸えば、奥さんが１本吸うことになり、職場で10人が吸えば、女子職員が１本吸うのと同じことだそうです。タバコの煙が目にしみるとは、副流煙が、アルカリ性で目や鼻の粘膜を刺激するからです。日本薬剤師会でも「最高の家族サービスは、あなたの禁煙です」をスローガンに禁煙サポート薬剤師のキャンペーンを行う予定となっています。

看護の日
～看護の心をみんなの心に～

看護局科長　小　嶋　裕　美

今年度から「看護の日」の企画運営を看護局以外の委員が参画することになり、病院行事として周知され、たくさんの方々のご協力をいただき感謝しております。

今年の行事は、ふれあい看護体験、コンサートが２日間で行われました。ポスター作成や新たなチャレンジとして「ひもくじ」では、和島さん、前島さん、富永さんが秘めていた才能を発揮して、右脳を使ったセンスのいいラッピング、ポスターやカードを次から次に作成できるので本当にスムーズな準備ができました。江口さん、木田さん、そしてボランティアでＭＥ部の真下さん３名の男性が配慮ある細やかな力仕事から会場設営まで担当していただきスムーズに運営することができました。ＯＺスタジオ～インフィニティのお２人には、患者様のことを考えて選曲していただき、心安らぐ、そして心に残る音楽の夕べを過ごすことができました。

看護局が中心となり長澤さんと私が担当したふれあい看護体験では、各部署の科長さんが一日看護師さんへ担当者を配置していただき、改めて目標を再確認して貴重な心に残る体験を持ち帰られたようで本当に良かったと思います。

一日看護師の高橋さんから以下のような感想を寄せていただきました。５年後の未来の看護師さん、いつかどこかで一緒に仕事ができることを願って楽しみにしています。

マンモグラフィ検診施設認定！！

６月１日付けでマンモグラフィ検診施設に認定されました。マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の施設画像評価委員会が認定したもので、施設認定を目指し、昨年より放射線部の最重点目標として、努力してきたものが実を結んだかたちとなりました。

昨年検診センターに導入された、PCMシステムの装置での認定ということで、同システムでの施設認定は道内初となります。ファントム画像と臨床画像について、撮影技術、濃度管理、被爆管理等の項目で、評価されます。担当者は大いに喜びながら「検診マンモグラフィとして、申し分のないＡランクでの認定ということで、最高にうれしいです」「この認定の有効期限は2009年までの３年間で、継続して、マンモグラフィの精度管理が必要となってきます。当院のマンモグラフィの質の向上のため、↗

●一日看護師を体験して（恵庭北高等学校２年　高橋　愛さん）

今日一日看護師を体験して普段見ることができない場所や設備を見ることができ、とても貴重な体験をすることができました。また、患者さんの体をきれいにしたり、ごはんを食べるお手伝いをしたり、話したりすることで普段看護師さんがしているお仕事をじかに見て体験でき、将来のいい経験になりました。そして、車椅子に乗ったり、リハビリの機械を使わせてもらって、患者さんの気持ちやスタッフの方々が患者さん達にとってどれだけ大切かがわかりました。病院の色々な施設を見て、今まで知らなかった専門職を知り、ひとつの病院をたくさんの分野の人たちで支えているんだなぁと思いました。

今日この病院で学び、より看護師になりたいという気持ちになりました。そして、今日の体験をバネにして勉強をうんと頑張って未来の看護師になれるよう頑張りたいと思います。

●看護の日に参加して（栄養部係長　富永史子）

初めて看護の日に参加して、短い準備期間でしたが、小嶋科長リーダーのもとみんながまとまって成功させることができたと思います。

子供対象の「ひもくじ」では各部署のみなさんの協力で色々なものを詰め合わせたかわいい景品を50個以上用意することができました。実際には、子供より昔子供だった患者さんたちの方が楽しんで参加してくれました。

電子カルテ導入や日程の変更など、忙しい日々でしたが、当日は心に染みる素敵な歌を聴くことができました。入院期間中は楽しみの少ない患者さん達にとって「とても良かった、楽しかった。」との声を聞き、喜んでもらえることができ嬉しく思います。

↘これからも頑張ります」と気を引き締めて話しをしていました。

これをきっかけに、多くの患者様が当院の検診マンモグラフィを受けに来てくれると嬉しいですね。

編集後記

世界はサッカーのワールドカップで大いに盛り上がっています。

札幌はよさこいソーランも終わり、静かに夏の到来を待っている、というところでしょうか。

さて、このたび、院外広報誌『ポラリス』を創刊しました。年４回の発行を目指しておりますが、地域の皆様への情報発信の役割を果たし、さらに地域の皆様との交流に役立てれば幸いと思います。

『ポラリス』という題名は北極星と言う意味があるそうです。あの『冬のソナタ』に、ポラリスという言葉が使われたことで、有名になったと聞いております。実はこの『ポラリス』は職員から公募して、十数件の中から選ばれたもので検査部の女性職員の作品です。当院の前身である北辰病院の北辰もまた、北極星のことであり、北国の中心で悠久に輝き人々の指標となるという願いが込められているのです。

この院外広報誌『ポラリス』が『冬のソナタ』のように皆様に愛されるものにして行きたいと思っております。

（相川記）

編集委員　相川・佐藤(出)・小林・宮下・紺野・荒井・長野・土田

札幌社会保険総合病院『診療受付一覧表』

診療受付時間
（午前8時～11時、午後1時～3時）

内科・糖尿病・内分泌
内科・腎臓

予約受付 14:00～17:00

	午前		午後	
	糖尿病	腎臓病	糖尿病	腎臓病
月	和田	佐々木	午後診療無	
火	櫻井	診療無	午後診療無	
水	櫻井	角田	午後診療無	
木	和田	診療無	櫻井	診療無
金	和田	安田(卓)	午後診療無	

内科・呼吸器科

予約受付 14:00～17:00

	午前	午後
月	高岡	午後診療無
火	土肥	土肥
水	土肥	午後診療無
木	高岡	高岡
金	土肥	午後診療無

内科・消化器科

予約受付 14:00～17:00

	午前		午後
月	高木		岸本
火	横山		午後診療無
水	岸本		鈴木
木	高木		午後診療無
金	横山	関谷	鈴木

内科・循環器科

予約受付 14:00～17:00

	午前	午後
月	笹尾	午後診療無
火	前田	堀田
水	午前診療無	前田
木	笹尾	午後診療無
金	笹尾／ペースメーカー外来	堀田

内科・リウマチ科

予約受付 14:00～17:00

	午前	午後
月	午前診療無	古崎
火	午前診療無	大西
水	大西	午後診療無
木	午前診療無	大西
金	午前診療無	古崎

総合診療科

予約受付 14:00～17:00

	午前	午後
月	前田	土肥／櫻井
火	高岡	安田／角田
水	和田	高木
木	堀田／古崎	横山
金	大西	笹尾／櫻井

小児科

予約受付 14:00～17:00

	午前		午後
月	宇加江	(柳内)	伊藤
火	宇加江	(伊藤)	乳児検診13:00予約/予防接種14:00
水	伊藤	(柳内)	宇加江
木	宇加江	(伊藤)	柳内／アレルギー外来(予約)
金	宇加江	(柳内)	柳内
火曜	(13:00～14:00)予約		乳児検診
火曜	(13:00～15:00)		三種混合・麻疹・おたふく 水痘・風疹・二種ワクチン
木曜	午後(予約)月2回(第1, 3週)		神経衛生相談
金曜	午前(予約)月1回(第4週)		心臓外来
金曜	午後(予約) 神経外来 伊藤		

平成18年6月1日現在

外科

予約受付 14:00～17:00

	午前		午後
月	秦	許	許
火	秦		交代制
水	佐藤	中川	中川
木	松岡		松岡
金	砂原		砂原

整形外科

予約受付 14:00～17:00

	午前			午後	
	新患	再来(予約)	再来(予約)	新患	再来
月	黒部	竹林	横田 永井	横田	
火	永井	黒部		黒部	
水	永井	竹林		永井	
木	横田	竹林	永井	横田	
金	竹林	黒部		黒部	

※月曜日 永井Drは10:30からの診療です。

皮膚科

予約受付 14:00～17:00

	午前		午後
月	松村	根本	松村
火	松村	根本	松村
水	松村	根本	根本
木	松村	根本	(手術)
金	松村	根本	根本

泌尿器科

予約受付 14:00～17:00

	午前	午後
月	三橋	(手術)
火	三橋	(手術)
水	毛利	三橋
木	三橋	(手術)
金	毛利	三橋

産婦人科

予約受付 14:00～17:00

	午前		午後	
	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科
月	佐藤		佐藤	
火	佐藤	山本	佐藤	山本
水	佐藤		佐藤	
木	佐藤		(手術)	
金	佐藤	山本	佐藤	山本

眼科

予約受付 14:00～17:00

	午前		午後	
月	佐藤	加瀬	佐藤(予約)	加瀬(予約)
火	佐藤	加瀬	佐藤(予約)	加瀬(予約)
水	佐藤	加瀬	(手術)	
木	佐藤	加瀬	佐藤(予約)	加瀬(予約)
金	佐藤	加瀬	(手術)	

耳鼻咽喉科

予約受付 14:00～17:00

	午前		午後	
月	栗原	川原	(手術)	
火	栗原	川原	(手術)	
水	栗原	川原	栗原	川原
木	栗原	川原	栗原	川原
金	栗原	川原	栗原(予約)	川原(予約)

放射線科

	午前	午後
月	吉川	吉川
火	吉川	吉川
水	吉川	(検査)
木	吉川	吉川
金	吉川	(検査)

発行責任者：秦 温信
発行：〒004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2番1号 札幌社会保険総合病院